

桜川地区防災マップ

板橋区町会連合会 桜川支部
板橋区 危機管理室

・このマップは「平成27年度板橋区地域別防災対策マニュアル策定ワークショップ」により作成されたものです。
・大規模災害に備えて、このマップをもとに「災害時の危険」を具体的に想定し、「防災上の資源」を使ってどのように対応するか確認しましょう。

防災上の資源

- 一時集合場所
- 避難場所
- 避難所
- 消火栓
- 街頭消火器
- 防火水槽
- 防災協力井戸
- 防災用深井戸
- 災害時給水ステーション
- 防災行政無線放送塔
- 住防・消火隊格納庫
- AED設置場所
- 土のうステーション
- 消防署
- 警察署
- 救急病院
- 区役所・支所・区民事務所
- 地域センター
- 区民集会所・ホールふれあい館・いこいの家

その他防災上の資源 (写真一部掲載)

公園、ポケットパーク、神社、駐車場(空地)、畑、福祉施設、老人ホーム、病院、医院、薬局、ガソリンスタンド(燃料、救急救命講習受講者)、耐火建物、事業所(資機材)、店舗(食料品)、自動販売機、銭湯(水源)、公衆電話、掲示板

災害時の危険

地盤(崩壊)

石神井川周辺(液状化)よう壁、暗渠
過去に浸水した場所

建物(火災・崩壊)

木造住宅密集地
老朽住宅、空き家
危険物施設(ボイラー施設、ガソリンスタンド)
古いブロック塀、重量塀
瓦・看板・固定が十分でない室外機(落下の恐れ)
老朽化した外壁

道路(閉塞・通行支障)

狭い道、行き止まり路
階段、坂道
電柱・老木(倒壊)
幹線道路(渋滞)
商店街入口(抜け道)落橋

その他

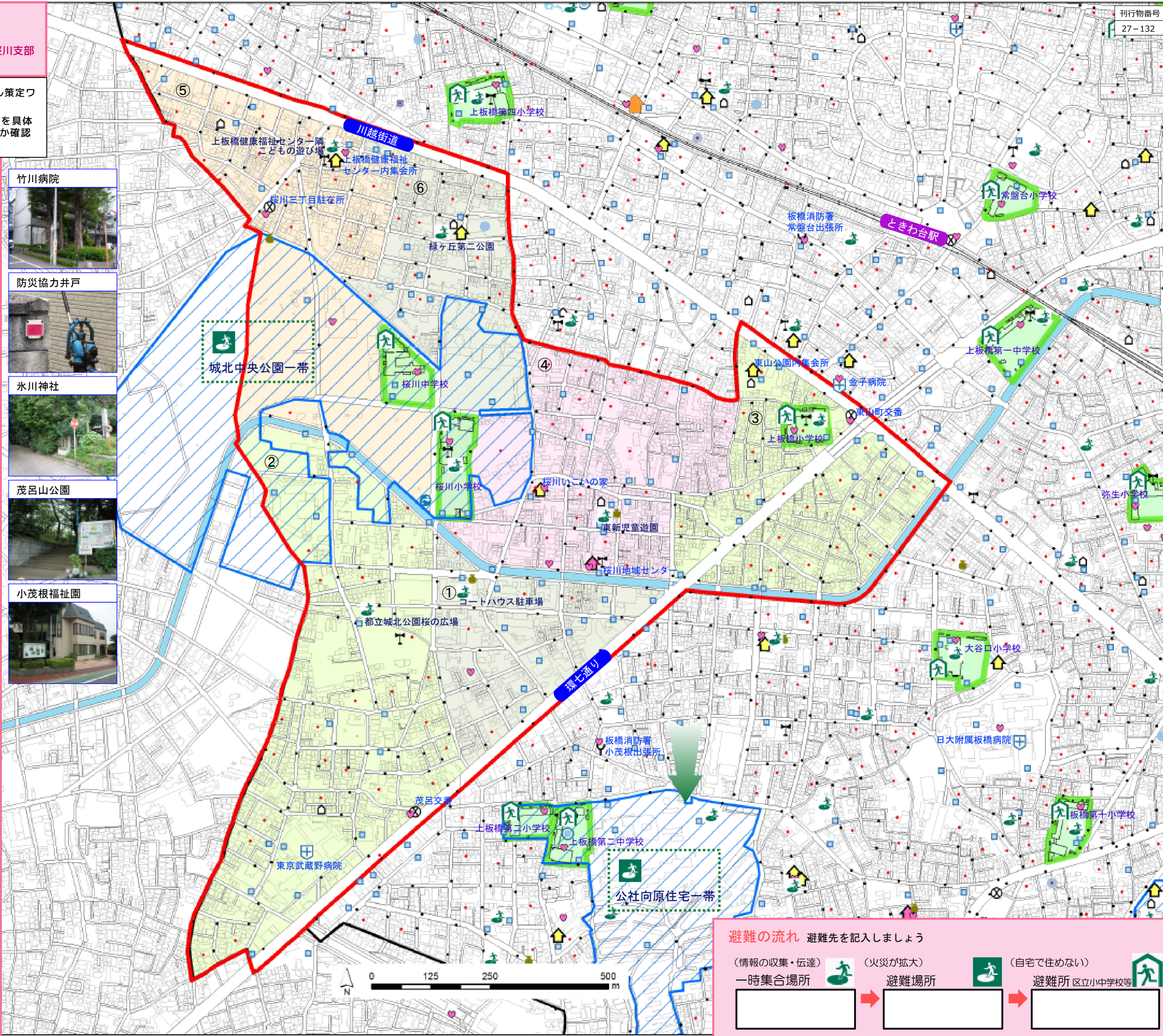
ブロック塀に設置している消火器
傾いた土留め
防空壕跡、茂呂遺跡(崩れる心配)
病院・福祉施設(要配慮者の心配)

町会・自治会(住民防災組織)

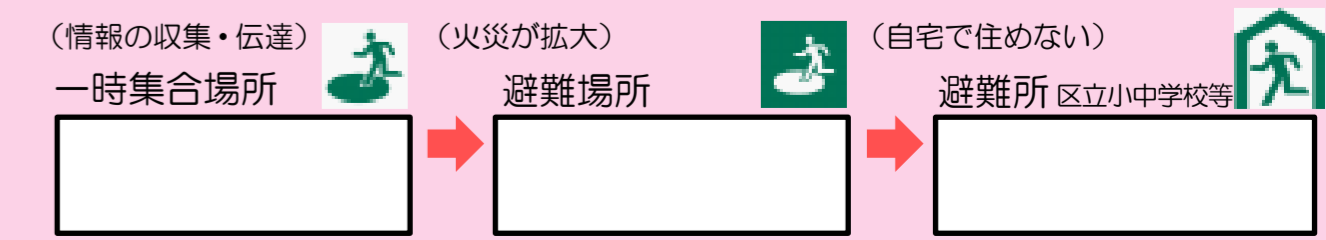
町会名	一時集合場所名
①小茂根三丁目町会	コートハウス駐車場
②茂呂町会	都立城北公園桜の広場
③東山町会	上板橋小学校
④東新町二丁目町会	桜川小学校・東新児童遊園
⑤桜川町会	上板橋健康福祉センター隣こどもの遊び場
⑥桜川二丁目町会	緑ヶ丘第二公園

支部域 板橋区域
町会、自治会区域

・板橋区が所有するデータを用いていますが、データの精度の都合上、実際の位置と地図上の位置にずれがある可能性があります。
・この防災マップの作成にあたっては、株式会社ミッドマップ東京の承認を得て、背景図を使用しています。また、地図の無断複写を禁じます。(利用許諾番号MMT利許第27028号-42)

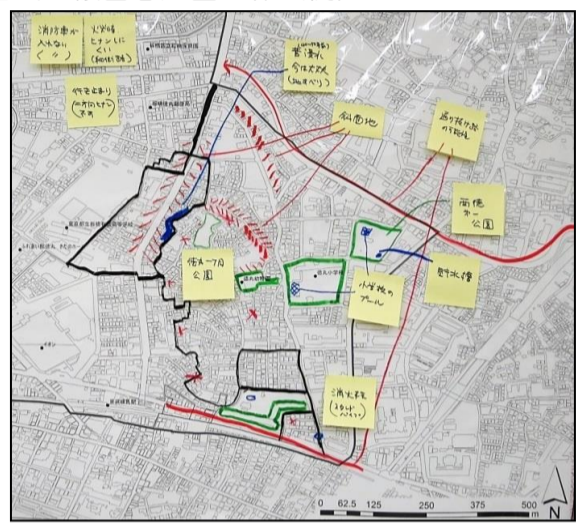
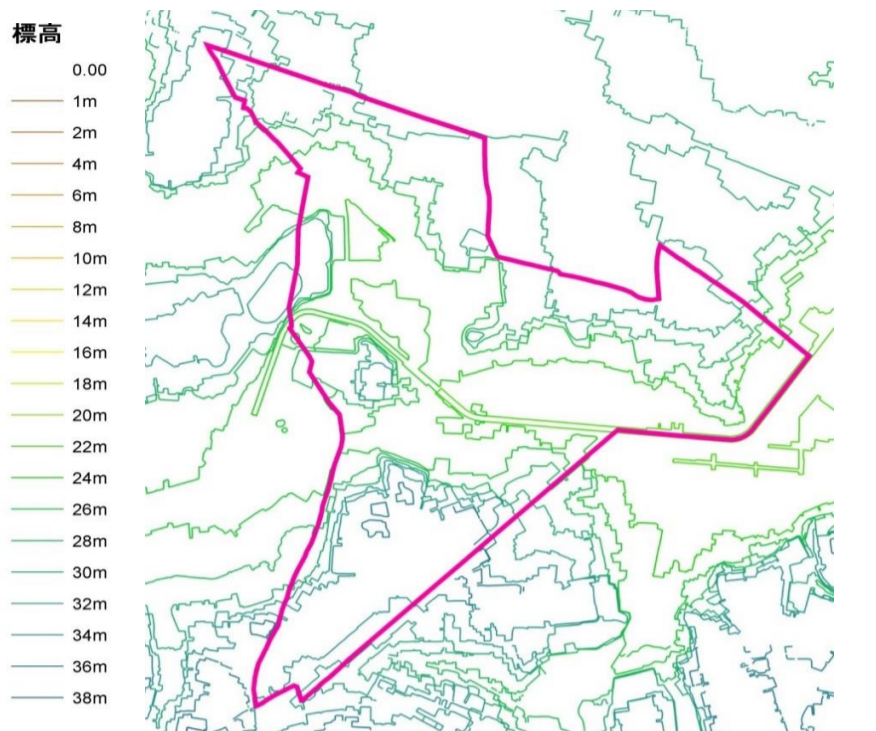
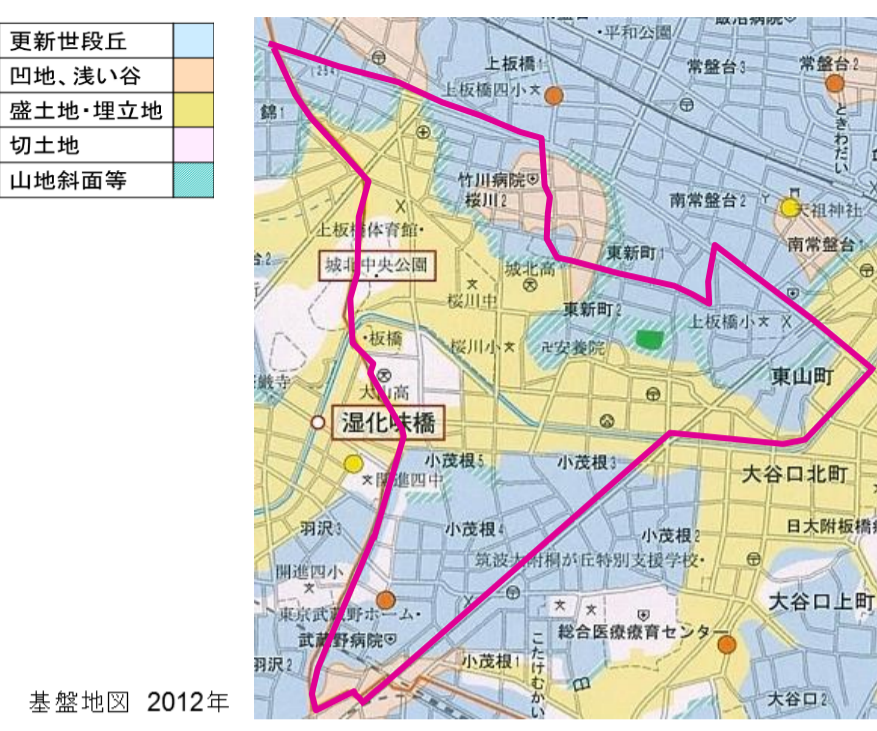
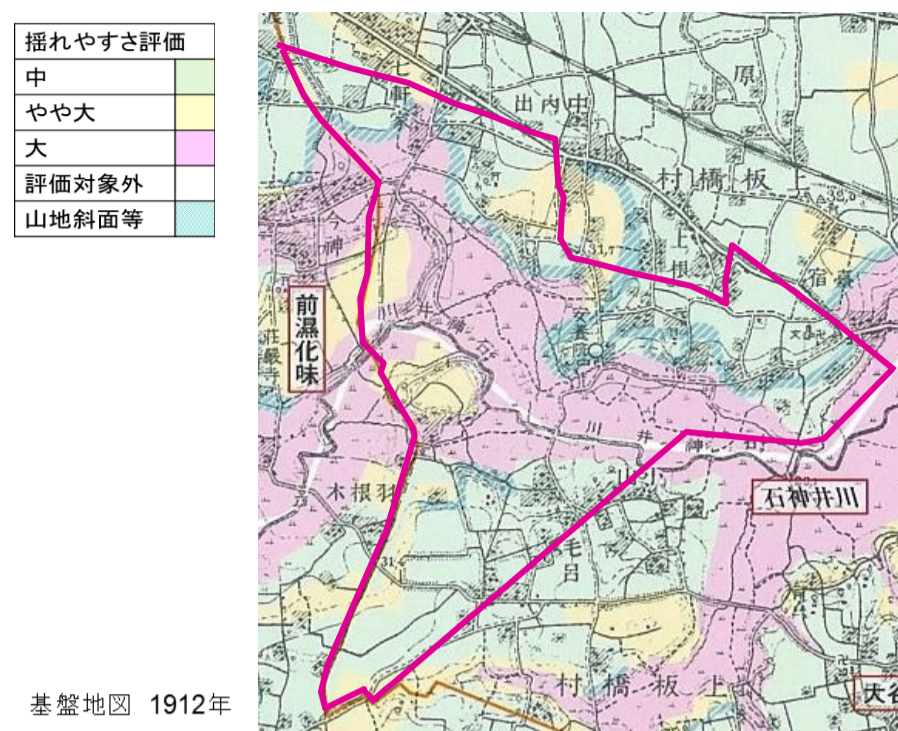



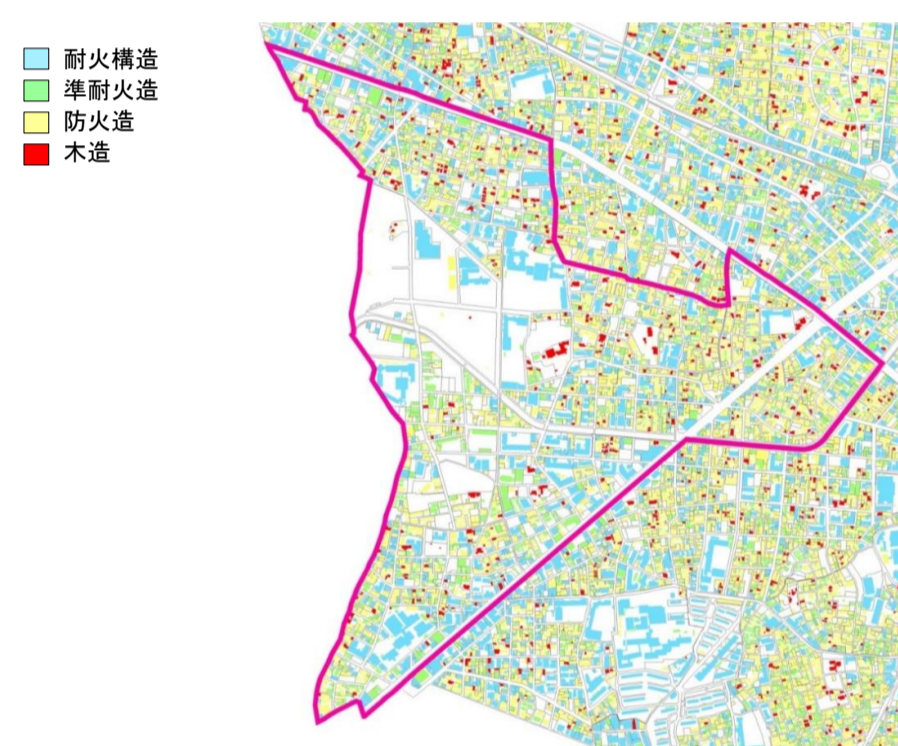
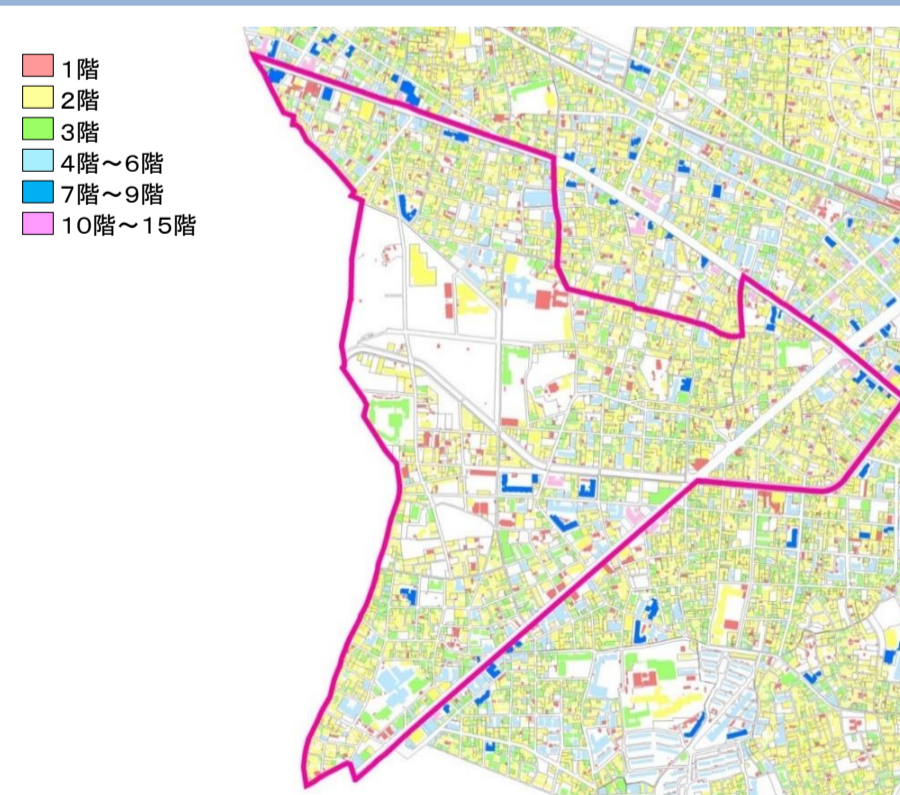
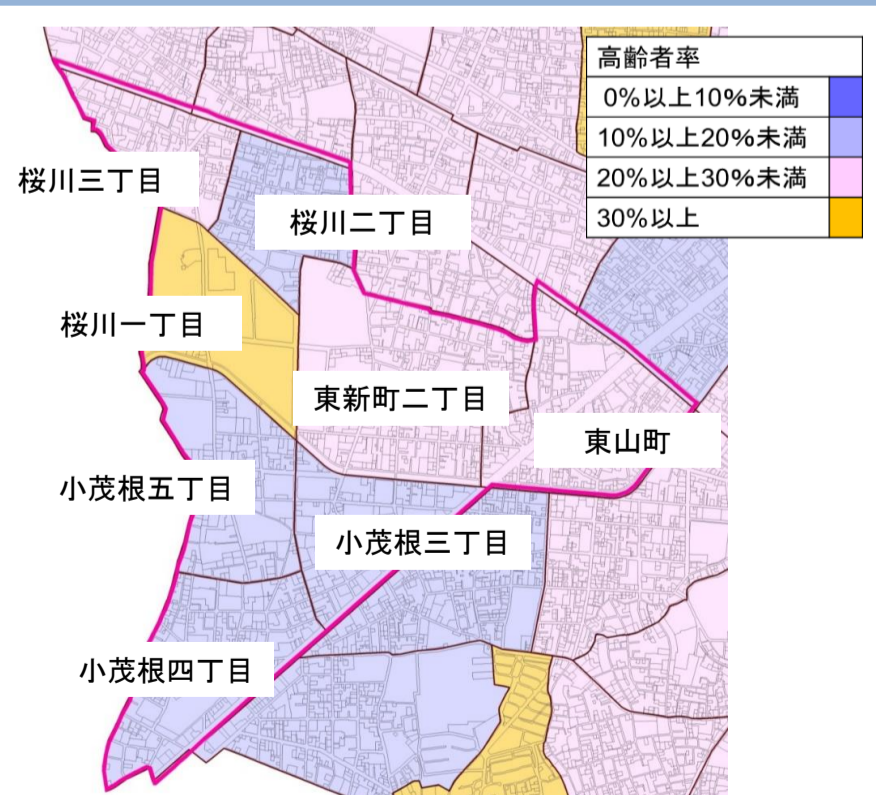
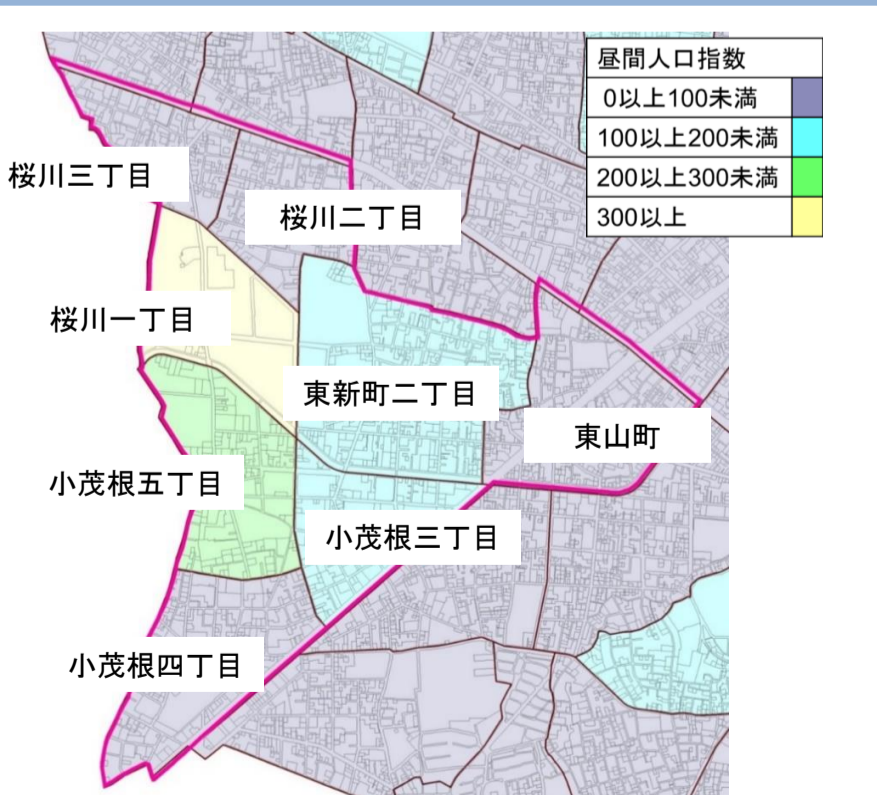


避難の流れ 避難先を記入しましょう



桜川地区の地域特性

出典一覧: ①ミッドマップ東京1/2500地形図、②③首都大地震ゆれやすさマップ2013年旬報社、④板橋区都市計画マスタープラン、⑤H27板橋区用途地域図、⑥～⑧H23東京都土地利用現況調査、⑨H27.1板橋区住民基本台帳、⑩H22板橋区国勢調査

<p>はじめに</p> <p>桜川地区の地域特性について、地盤、建物、人口属性の分布を地図にあらわしました。これらの特徴を表面の地図で確認して、被害イメージを考える参考にしてください。</p> <p>(地域の被害想定図の作成例)</p> 	<p>①地形</p>  <ul style="list-style-type: none"> 桜川地区の標高は、石神井川付近22m～小茂根周辺36mに及び。 	<p>②土地条件図</p>  <ul style="list-style-type: none"> 更新世段丘 凹地、浅い谷 盛土地・埋立地 切土地 山地斜面等 <p>基礎地図 2012年</p> <ul style="list-style-type: none"> 石神井川の河川敷が盛土・埋立され、武蔵野台地の段丘の間に、切土地や浅い谷、山地斜面が見られる。 	<p>③旧版地図・地盤の揺れやすさ評価</p>  <p>揺れやすさ評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 中 やや大 大 評価対象外 山地斜面等 <p>基礎地図 1912年</p> <ul style="list-style-type: none"> 段丘の揺れやすさは「中」。 切土地は、浅い谷は「やや大」。 盛土地及び埋立地は揺れやすさは「大」。
<p>④土地利用-都市基盤</p>  <ul style="list-style-type: none"> 幹線道路（川越街道、環状7号線）と鉄道（東武東上線、有楽町線・副都心線）の利便性が高い。 	<p>⑤土地利用-用途地域</p>  <ul style="list-style-type: none"> 地区内ほぼ「第一種中高層住居専用地域」。 幹線道路沿いは商業系の用途地域。 	<p>⑥建物属性-建物用途</p>  <ul style="list-style-type: none"> 公共・公益施設 商業・業務建物 住商併用建物 独立住宅 集合住宅 専用工場 住居併用工場 倉庫運輸関係施設 <ul style="list-style-type: none"> 独立住宅が棟数割合、面積割合ともに最も多く、次いで集合住宅が多い。 	<p>⑦建物属性-建物構造</p>  <ul style="list-style-type: none"> 棟数割合では防火造が過半数を占める。 地区内には、木造（木材が外部に露出した建物）が点在している。
<p>⑧建物属性-建物階数</p>  <ul style="list-style-type: none"> 1～2階建てで約74%を占める。 幹線道路沿いや石神井川周辺に7階以上の建物が見られる。 	<p>⑨人口属性-65歳以上の高齢者率（町丁目別）</p>  <ul style="list-style-type: none"> 高齢者（65歳以上）率は、板橋区平均（23%）とほぼ同じかそれより低い（※桜川一丁目は住民数が少なく参考値）。 	<p>⑩人口属性-昼間人口指数（町丁目別）</p>  <ul style="list-style-type: none"> 昼間人口指数（夜間人口を100とした場合の昼間人口）は、東山町、桜川二丁目、桜川三丁目、小茂根四丁目が高い（区平均値92）。 	<p>まち歩きをしましょう</p> <p>地区の地域特性を「鳥の目」で見た後は、まち歩きをして、「虫の目」でまちの様子を確認しましょう。自宅周辺の「災害時の危険」と「防災上の資源」を見つけて「まち歩きマップ」を作り、災害時の緊急対応を検討しましょう。</p> 